

本資料は2021年4月22日にチュールッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版（要旨）です

## 2021年第1四半期の業績

2021年第1四半期に発生した米国を拠点とするヘッジファンドの事案に関連した多額の費用を反映したことで、ウェルス・マネジメント部門およびインベストメント・バンク部門の好調な業績は相殺され、2021年第1四半期の純損失は2億5,200万スイス・フランとなりました。CET1比率12.2%の資本状況は、2つのシリーズの強制転換社債（MCN）を通じて2億300万株を発行することによりさらに強化されます。

クレディ・スイス・グループ 公表財務指標（特に指定のない限り、百万スイス・フラン）	2021年第1四半期	2020年第1四半期	2020年第1四半期 との比較
<b>純収益</b>	<b>7,574</b>	<b>5,776</b>	31%
うち、ウェルス・マネジメント部門関連	3,882	3,766	3%
うち、インベストメント・バンク部門(百万米ドル)	3,888	2,155	80%
貸倒引当金	4,394	568	-
営業費用合計	3,937	4,007	(2)%
<b>税引前利益 / (損失)</b>	<b>(757)</b>	<b>1,201</b>	-
<b>株主帰属純利益 / (損失)</b>	<b>(252)</b>	<b>1,314</b>	-
株主帰属有形株主資本利益率	(2.6)%	13.1%	-
CET1比率	12.2%	12.1%	-
ティア1レバレッジ比率 <sup>1</sup>	5.5%	5.3%	-
<b>大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジ・ ファンドの事案*を除いた調整後の主な財務指標（百万スイス・ フラン）</b>	<b>2021年第1四半期</b>	<b>2020年第1四半期</b>	<b>2020年第1四半期 との比較</b>
<b>純収益</b>	<b>7,430</b>	<b>5,508</b>	35%
<b>税引前利益</b>	<b>3,596</b>	<b>946</b>	280%

クレディ・スイス・グループ AG の最高経営責任者（CEO）トーマス・ゴットシュタインは次のように述べています。  
「クレディ・スイスの2021年第1四半期の業績は、米国を拠点とするヘッジファンドに関連して44億スイス・フランの費用を計上したことにより、大きな影響を受けました。当該事案によって当四半期に計上された損失は受け入れ難いものです。当行は、取締役会とともに、この状況やサプライチェーン・ファイナンス・ファンドの事案に対応するため、重要な措置を講じてきました。断固たる措置として、特に、事業部門および管理部門における上級幹部の交代、銀行全体でのリスクレビューの強化、これらの事案についての、取締役会の特別委員会により監督される外部のアドバイザーによる独立した調査の開始、資本関連のいくつかの措置等を行いました。我々は、より強いクレディ・スイスをお見せできるよう取り組んでいきます。しかしながら、2021年第1四半期の基本的な財務パフォーマンス<sup>2</sup>は、スイスにおける堅調な業績や、アジア太平洋部門とインベストメント・バンキング部門における力強い成長に支えられ、すべての部門において堅調であったことを認識することも重要です。また、今回のMCN発行の成功により、バランスシートが改善し、当行の中核を担うフランチャイズの勢いを支えることができると見込んでいます。基本的

な業績は、クレディ・スイスの収益力と従業員のコミットメントを証明するものです。そして、現在取り組んでいる問題を迅速かつ断固として解決することが一層重要になります。」

#### 財務ハイライト

- ウェルス・マネジメント部門に関連する事業およびインベストメント・バンク部門における**潤沢な収益確保**。公表した純収益は、前年同期比 31% 増。
- **当グループの潤沢な 2021 年第 1 四半期の新規純資産 (NNA)** 284 億スイス・フラン (うち、WM 部門の NNA は 144 億スイス・フラン) は、年換算成長率 7% に相当し、WM 部門の 3 つすべての事業においてプラスに寄与。
- CET1 比率約 13% および CET1 レバレッジ比率 4.0% 以上を達成することを目標とした 2021 年第 1 四半期末の **CET1 比率は 12.2%、CET1 レバレッジ比率は 3.8%**。
- **2 つのシリーズの MCN を通じて 2 億 300 万株を発行することにより、CET1 比率は 55-60bps 増加される見込み。**

#### 2021 年第 1 四半期の事業ハイライト

- **ウェルス・マネジメント (WM) 部門に関連する事業における継続的な勢い**により、税引前利益 (大幅な変動があった項目を除いた調整後ベース) は、前年同期比 59% の増加、調整後の規制資本利益率 (RoRC、大幅な変動があった項目を除く) は 29%。
- **アジア大平洋部門 (APAC) における力強い成長**により、税引前利益 (大幅な変動があった項目を除いた調整後ベース) は、米ドルベースで前年同期比 164% の増加、調整後の規制資本利益率 (大幅な変動があった項目を除く) は、米ドルベースで 52% の増加。
- **インベストメント・バンク (IB) 部門の業績は、米国を拠点とするヘッジファンドに関連する 44 億スイス・フランの費用に大きく影響を受ける**；純収益は前年同期比 80% の増加；税引前損失は 26 億米ドル。
- 2021 年第 1 四半期末の**グループ全体の AuM** は 1 兆 6,000 億スイス・フラン (2020 年第 4 四半期比 6% 増)；WM 部門の AuM は 8,410 億スイス・フラン (2020 年第 4 四半期比 6% 増)；WM 部門の顧客業務量は 1 兆 3,000 億スイス・フラン (2020 年第 4 四半期比 7% 増)。
- **サプライ・チェーン・ファイナンス (SCF) ファンド事案**：4 つの SCF ファンドにおける投資家への現金還元は、引き続き CSAM の優先事項；現在までに合計 48 億米ドルの償還金を支払い済み；今後数カ月の間に最新情報を提供予定。

## 概要

### 2021年第1四半期の業績

3月および4月のトレーディング・アップデートのとおり、当グループは、公表した業績に重大な影響を及ぼす複数の項目を当四半期において経験しました。当グループは、2021年第1四半期において7億5,700万スイス・フランの税引前損失および2億5,200万スイス・フランの株主帰属純損失（米国を拠点とするヘッジファンドの事案<sup>4</sup>に関する44億スイス・フランの税引前費用を含む。）を計上しました。基本的な事業業績<sup>5</sup>は堅調で、大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジファンドの事案\*の影響を除いた調整後純収益は74億スイス・フラン（前年同期比35%増）、大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジファンドの事案\*の影響を除いた調整後税引前利益は36億スイス・フラン（280%増）でした。2021年4月21日の営業終了時点で、当グループは関連するポジションの97%を売却しており、米国を拠点とするヘッジファンドの事案に関し2021年第2四半期に約6億スイス・フランの追加損失が生じる見込みです。

**ウェルス・マネジメント関連事業**において、当グループはフランチャイズ全般で堅調に成長し、39億スイス・フラン（前年同期比3%増）の純収益を計上しました。トランザクション・ベースの収益は18%増加、経手手数料収益は3%増加し、純利息収益は9%減少しました。大幅な変動があった項目\*の影響を除いた調整後のウェルス・マネジメント関連の純収益合計は37億スイス・フランで、前年同期比で7%増加しました。

**インベストメント・バンク部門**は、債券販売およびトレーディング部門が前年同期比29%増、株式販売およびトレーディング部門が23%増、キャピタル・マーケットおよびアドバイザー部門<sup>6</sup>が大幅増と、すべての商品にわたり業績が好調であったことに恩恵を受け引き続き堅調で、収益は前年同期比80%増の39億スイス・フランでした。インベストメント・バンク（IB）部門とウェルス・マネジメント事業が連携するグローバル・トレーディング・ソリューションズ（GTS）の純収益も、部門および事業分野をこえた連携を推進し続ける当グループの戦略の強みを強調することにより、前年同期比で10%増加しました。

当グループの**営業費用**は、前年同期比2%減の39億スイス・フランでした。これは主に、報酬費用の減少を反映したもので、調整後\*ベースの営業費用は3%の減少でした。2021年第1四半期の貸倒引当金繰入額は、米国を拠点とするヘッジファンドの事案により、前年同期比および前四半期比で大幅に増加しました。当グループは、2020年第1四半期の5億6,800万スイス・フラン、2020年第4四半期の1億3,800万スイス・フランに対し、44億スイス・フランの貸倒引当金繰入額を計上しました。当四半期の引当金の大半はIBに反映され、この特定の事案に関連するものです。

当グループは、2020年第1四半期の58億スイス・フラン、2020年第4四半期の84億スイス・フランに対し、2021年第1四半期において284億スイス・フランの**新規純資産**を計上しました。ウェルス・マネジメント事業全体で資産収集が好調で、スイス・ユニバーサル・バンク（SUB）部門のプライベート・クライアントが22億スイス・フラン、インターナショナル・ウェルス・マネジメント（IWM）部門のプライベート・バンキングが72億スイス・フラン、APAC部門が54億米ドルでした。2021年第1四半期末現在の当グループの**運用資産**（AuM）は、合計1.6兆スイス・フランで、2020年第4四半期末現在の1.5兆スイス・フランから増加しました。

2021年第1四半期末現在、当グループの**CET1比率**は12.2%でした。2021年第1四半期について、リスク加重資産のうち58億スイス・フランは、米国を拠点とするヘッジファンドの事案における残存エクスポージャーに関連しており、またSCFファンドの事案に関して19億スイス・フランの第2の柱に基づく追加資本をFINMAから要求されました。2021年第2四半期中、ヘッジファンド関連のポジションを売却することにより、関連するリスク加重資産の金額はそれに応じて減少する見込みです。当グループは、2021年第2四半期中に

要求されるリスク加重資産をゼロまで減少させる見込みです。

2021年4月22日、当グループは、**2つのシリーズの強制転換社債（MCN）の募集**を発表しました。シリーズAMCNおよびシリーズBMCNは、それぞれクレディ・スイス・グループAGの株式1億株および1億300万株に転換可能です。本募集により、当グループの資本基盤のさらなる強化が見込まれます。本募集は、2021年5月12日前後に終了する予定です。

シリーズAMCNの裏付けとなるクレディ・スイス・グループAGの株式は、クレディ・スイス・グループAGの現在の条件付資本から発行されます。シリーズBMCNの裏付けとなるクレディ・スイス・グループAGの株式は、クレディ・スイス・グループAGの現在の授權資本から発行されます。現在の授權資本の全額がかかる発行に活用される見込みで、取締役会は、2021年年度株主総会（AGM）における授權資本の緩やかな増加および拡張に関する提案の撤回を決定しました。

### 株主還元

2021年4月6日に発表した通り、取締役会は、2021年4月30日のAGMにおいて株主に提案する配当案を修正しました。かかる提案では、記名式株式1株当たり0.10スイス・フランの普通配当総額のうち、半分は利益剰余金から、半分は資本準備金から配当することを提案しています。この提案は、当グループの強固な資本基盤を維持する手掛かりとなります。2021年第1四半期において、3億500万スイス・フランの自社株買いを完了したことを受けて、自社株買いプログラムを停止しています。2021年の財務パフォーマンスに応じて、取締役会は、自社株買いを再開する前に2021年の配当を行う予定です。

### 見通し

全体として、市場取引高は、今後数四半期のうちにより低くより通常の水準に戻ると見込んでいます。当グループは、米国拠点のヘッジファンド事案に関連するポジションの97%を売却したことから、2021年第2四半期においては約6億スイス・フランの影響が残ると予想しています。

WM部門において、純金利収入はほぼ横ばいであり、高水準のAuMに伴う経常手数料の改善が見込まれます。IB部門においては、第2四半期の市場活動の鈍化を反映し、米国拠点のヘッジファンド事案（とりわけプライム・サービス事業の縮小）による悪影響を反映すると予想しています。

世界経済の回復の兆しは、COVID-19危機があった昨年の年初数ヶ月に計上されたCECL会計手法に基づく、当グループの貸倒引当金の一部を段階的に解除できる可能性があります。さらに、当グループは、今年の残余期間に関して、実効税率が大幅に上昇すると予想しています。MCN関連の増資やその他の積極的な資本活動の効果を含め、CET1比率は約13%、CET1レバレッジ比率は4%以上を達成する予定です。

### 最近の出来事を受けて行われた断固たる行動

3月および4月のトレーディング・アップデートでこれまで発表した通り、クレディ・スイスの取締役会および業務執行役員会は、SCFファンドおよび米国を拠点とするヘッジファンドの事案に直接対処するための対策を講じました。FINMAおよび他の規制当局には情報提供を行っています。それには以下の情報を含みます。

上級経営陣の異動：

- ブライアン・チン (Brian Chin) (インベストメント・バンク担当最高経営責任者 (CEO)) およびララ・ワナー (Lara Warner) (最高リスク & コンプライアンス責任者) の退任
- クリスチャン・マイスナー (Christian Meissner) が 2021 年 5 月 1 日付で IB 担当 CEO および業務執行役員会メンバーに就任
- ヨアヒム・オクスリン (Joachim Oechslin) が 2021 年 4 月 6 日付で最高リスク管理責任者および業務執行役員会メンバーに暫定的に就任
- トーマス・グロッツァー (Thomas Grotzer) が 2021 年 4 月 6 日付でグループ CEO 直属のコンプライアンス担当グローバルヘッドに暫定的に就任
- ウルリッヒ・ケルナー (Ulrich Körner) が 2021 年 4 月 1 日付でアセット・マネジメント担当 CEO および業務執行役員会メンバーに就任
- インベストメント・バンクおよび CRCO 機能内におけるその他複数の役員の異動

当行全体のリスクの見直しを強化：

- プライム・サービス事業全体にわたる、潜在的リスク・ポジションおよび関連する取引先に焦点を当てた詳細なレビュー
- SCF ファンドの事案を受けて、アセット・マネジメント全体でデューデリジェンスを強化
- 取締役会および外部のアドバイザーとの緊密な連携による、当グループ全体にわたるリスク・ポジション、事業およびリスク・プロセスのレビュー
- 最近の事案から得られた教訓の当行全体への展開

SCF ファンドおよび米国を拠点とするヘッジファンドの事案に関する独立した調査の開始：

- 取締役会は、SCF ファンドの事案および重要な米国を拠点とするヘッジファンドの事案について、外部のアドバイザーにより行われる 2 件の独立した調査に着手しました。
- これらの調査は取締役会の特別委員会によって監督されており、これらの事案から生じる直接的な課題に焦点を当てるだけでなく、より広範な結論および得られた教訓を反映します。

資本に関連した措置：

- 株式買戻しプログラムの停止
- 普通配当案の総額を発行済株式 1 株当たり 0.10 スイス・フランに引き下げ
- 2 シリーズの MCN の販売に成功
- FINMA およびすべての関連規制当局との緊密な連携。FINMA は 2 件の執行手続きを開始 (米国を拠点とするヘッジファンドおよび SCF ファンドに関する案件)。

**訴訟に関する最新情報**

2021 年 4 月 19 日、クレディ・スイスは、ニューヨーク州裁判所における住宅ローン担保証券に関する 2006 年からの請求総額 13 億米ドルを超える 2 件の訴訟において、管財人である U.S.バンクとの間で総額 5 億米ドルの和解に達しました。クレディ・スイスは全額を留保しており、追加の費用は発生しません。この和解は管財人が提起する別の訴訟手続きによる承認を受ける必要があります。この和解により、クレディ・スイスの過去の RMBS の訴訟案件で残存していた最大のエクスポージャーのうち 2 件が解消されました。

本資料はクレディ・スイス・グループが発表したメディアリリースの翻訳版 (要旨) です。メディアリリースの正確な内容は、クレディ・スイス・グループの [ウェブサイト](#) に掲載されたオリジナル版をご参照ください。

\* これらは、該当する場合、調整後の業績、大幅な変動があった項目による影響を除いた調整後の業績、ならびに大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジファンドの事案による影響を除いた調整後の業績を示しています。当グループの業績に含まれるこれらの調整後や利益を除外した業績は非 GAAP の財務指標です。最も直接的に比較可能な米国 GAAP 指標との調整については本メディアリリースオリジナル版の別表をご参照下さい。大幅な変動があった項目には、2020 年第 1 四半期のインベストラポ・ファンド・プラットフォームのオールファンズ・グループへの譲渡に関する利益、2020 年第 4 四半期のオールファンズ・グループへの株式投資再評価に関する利益、2020 年第 4 四半期の SIX への株式投資再評価に関する利益、2020 年第 4 四半期のヨークキャピタル・マネジメントの非支配持分の減損損失、および 2021 年第 1 四半期のオールファンズ・グループへの株式投資再評価に関する利益が含まれます。公表された 2021 年第 1 四半期の業績には、米国を拠点とするヘッジファンドによるマージン・コミットメントの不履行に関する 44 億 3,000 万スイス・フランの費用が含まれます。

## 脚注

- 1 2020 年の FINMA の認可に基づく、883 億 2,200 万スイス・フランの中央銀行預金の一時的な除外を除く 2020 年第 1 四半期のティア 1 レバレッジ比率。
- 2 基本的な業績またはパフォーマンスへの参照は、大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジファンドの事案を除いた調整後税引前利益をいいます。
- 3 FINMA による持分法適用への同意を得た時点または MCN の転換が行われる時点のうち、いずれか早い方までは調整後ベースの CET1 比率。
- 4 公表した 2021 年第 1 四半期の業績には、2,500 万スイス・フランのリストラクチャリング費用、3,800 万スイス・フランの不動産処分関連費用、400 万スイス・フランの主な訴訟引当金、および 1 億 4,400 万スイス・フランのオールファンズ・グループへの株式投資再評価に関する利益が含まれます。公表した 2020 年第 1 四半期の業績には、1,800 万スイス・フランの主な訴訟引当金、2 億 6,800 万スイス・フランのインベストラポ・ファンド・プラットフォームのオールファンズ・グループへの譲渡に関する利益、および 500 万スイス・フランの不動産譲渡純額が含まれます。
- 5 基本的な業績とは、大幅な変動があった項目および米国を拠点とするヘッジファンドの事案の影響を除いた調整後税引前利益をいいます。
- 6 インベストメント・バンク部門における資本市場収益、アドバイザーおよびその他の手数料を含みます。